

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	甲南大学
設置者名	学校法人甲南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
文学部	日本語日文学科	—	4	2	20	26	13	
	英語英米文学科	—	4	2	20	26	13	
	社会学科	—	4	2	20	26	13	
	人間科学科	—	4	2	29	35	13	
	歴史文化学科	—	4	2	29	35	13	
理工学部	物理学科	—	4	—	12	16	13	
	生物学科	—	4	—	12	16	13	
	機能分子化学科	—	4	—	15	19	13	
経済学部	経済学科	—	4	—	24	28	13	
法学部	法学科	—	4	—	22	26	13	
経営学部	経営学科	—	4	—	50	54	13	
知能情報学部	知能情報学科	—	4	—	32	36	13	
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	—	—	—	24	24	13	
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	—	—	—	20	20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表する https://www.konan-u.ac.jp/gakuen/basedata/jissen
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	甲南大学
設置者名	学校法人甲南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表する
<https://www.konan-u.ac.jp/gakuen/basedata/yakuin>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社 最高顧問	2017年10月1日～ 2021年9月30日	地域連携
非常勤	株式会社 代表取締役社長	2017年4月1日～ 2021年3月31日	資金運用
(備考) 任期の始期は最新の再任日であり、初回就任日ではない。 また、学外理事の総数は12名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	甲南大学
設置者名	学校法人甲南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 開講されているすべての授業科目について、授業内容、到達目標、授業方法、準備学習、必要となる知識、成績評価の方法(基準)、授業構成、教科書・参考書等をシラバスで公表している。また、実務経験のある教員等による授業科目については、「授業構成」欄に<実践>と記載している。 シラバスは、教務部より各科目の担当教員に対して依頼し、各担当教員がシラバスガイドラインに基づき作成する。作成後は、各学部のFD委員を中心にシラバスチェックを実施し、適宜修正等を行っている。新年度のシラバスは、3月上旬にホームページ上のシラバス検索で公開している。</p>																																				
授業計画書の公表方法		ホームページで公表している https://spoon.adm.konan-u.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp																																		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目に定められた成績評価の方法に基づき、定期試験、レポート、リフレクションペーパー、成果発表、出席状況等により、履修者の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を認定している。</p>																																				
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業科目の成績評価の客観的な指標として、Grade Point (GP) を定め、各評価の修得単位数に GP の値を乗じた値の合計値を、総履修登録単位数で除した数値を Grade Point Average (GPA) として設定している。学生は GPA を学修簿(成績表)において確認することができ、入学年度、学部・学科における GPA の分布を継続的に把握している。</p>																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>評価</th> <th>評点(成績評価基準)</th> <th>GP</th> <th>評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>AA</td> <td>秀</td> <td>100~90点</td> <td>4</td> <td>特に優れた成績</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>優</td> <td>89~80点</td> <td>3</td> <td>優れた成績</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>良</td> <td>79~70点</td> <td>2</td> <td>妥当と認められる成績</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>可</td> <td>69~60点</td> <td>1</td> <td>合格と認められる最低限の成績</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>D</td> <td>不可</td> <td>59~0点</td> <td>0</td> <td>合格と認められる最低限の成績に達していない</td> </tr> </tbody> </table>					区分	評価	評点(成績評価基準)	GP	評価内容	合格	AA	秀	100~90点	4	特に優れた成績	A	優	89~80点	3	優れた成績	B	良	79~70点	2	妥当と認められる成績	C	可	69~60点	1	合格と認められる最低限の成績	不合格	D	不可	59~0点	0	合格と認められる最低限の成績に達していない
区分	評価	評点(成績評価基準)	GP	評価内容																																
合格	AA	秀	100~90点	4	特に優れた成績																															
	A	優	89~80点	3	優れた成績																															
	B	良	79~70点	2	妥当と認められる成績																															
	C	可	69~60点	1	合格と認められる最低限の成績																															
不合格	D	不可	59~0点	0	合格と認められる最低限の成績に達していない																															
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>GP対象外</td> <td>E</td> <td>認定</td> <td>一括認定科目</td> <td>—</td> <td>編入学等により一括で単位認定された科目</td> </tr> </tbody> </table>					GP対象外	E	認定	一括認定科目	—	編入学等により一括で単位認定された科目																										
GP対象外	E	認定	一括認定科目	—	編入学等により一括で単位認定された科目																															

<p>GPA 算出方式</p> <p>$\frac{4 \times \text{AA の修得単位数} + 3 \times \text{A の修得単位数} + 2 \times \text{B の修得単位数} + 1 \times \text{C の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (「E」の単位数を除く、「D」の単位数を含む。)}}$</p> <p>(注1) 「E (一括認定科目)」は、計算式に含まない。 (注2) 不合格科目 (D評価) を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果再びD評価であった場合もすべてにおいて、学期ごとの GPA にも、通算の GPA にも算入される。 (注3) 学修簿には学期ごとの GPA、年度ごとの GPA、通算の GPA が記載される (小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表記)。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生配付資料 (履修ガイドブック 108 ページ) 及びホームページで公表している。 http://www.konan-u.ac.jp/kyohmu/aao/book/2019/pdf/2019konan-u_guidebook.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>すべての学部・学科において、ディプロマポリシー (学位授与の方針) を定め、卒業認定に必要な単位数等を公表している。卒業認定にあたっては、学部教授会及び合同教授会の厳正な審査を経て、学長が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生配付資料 (履修要項) 及び ホームページ公表している。 http://www.konan-u.ac.jp/kyohmu/doc/</p>

(次項に続く)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	甲南大学
設置者名	学校法人甲南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表する(以下同じ) https://www.konan-u.ac.jp/pdf/gakuen/zaimu/2018/kessan/k7.pdf
収支計算書又は 損益計算書	https://www.konan-u.ac.jp/pdf/gakuen/zaimu/2018/kessan/k5.pdf
財産目録	https://www.konan-u.ac.jp/pdf/gakuen/zaimu/2018/kessan/k9.pdf
事業報告書	https://www.konan-u.ac.jp/pdf/info/basedata/2019/houkokusho.pdf
監事による 監査報告(書)	https://www.konan-u.ac.jp/pdf/gakuen/zaimu/2018/kessan/k10.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書 対象年度: 2019)
公表方法: https://www.konan-u.ac.jp/pdf/info/basedata/2019/2019jigyokeikakusho.pdf
中長期計画(名称: 学園創立100周年記念募金事業 等 対象年度: 2016~)
公表方法: 2019年4月21日に学園創立100周年を迎えるにあたり、「学園創立100周年記念募金事業」を展開している。(2017年10月~) 公表ホームページ http://www.konan-u.ac.jp/100th/ また、甲南大学では、学長の強いリーダーシップのもと、長期ビジョン「甲南新世紀ビジョン」を定め、様々な取り組みを行っている。(2016年4月~) 公表ホームページ http://www.konan-u.ac.jp/100th/anniver_100th/vision.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表する https://www.konan-u.ac.jp/info/uaa/index.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表する https://www.konan-u.ac.jp/info/uaa/index.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	全ての学部
(公表方法)	教育研究上の目的・卒業の認定に関する方針・教育課程の編成及び実施に関する方針・入学者の受入れに関する方針については、すべて以下に記載。
公表ホームページ：	<p>文学部 http://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/letters/</p> <p>理工学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/science_and_engineering/</p> <p>経済学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/economics/</p> <p>法学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/law/</p> <p>経営学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/business/</p> <p>知能情報学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/ii/</p> <p>マネジメント創造学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/cube/</p> <p>フロンティアサイエンス学部 https://www.konan-u.ac.jp/info/houshin/first/</p>
(概要)	HP 上で全文を公開しているため、概要は省略する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：	上記参照)
(概要)	上記参照
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：	上記参照)
(概要)	上記参照
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：	上記参照)
(概要)	上記参照

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：	<p>HP 上 (甲南大学 HP の「公開情報」ページ内) で公表している。</p> <p>https://www.konan-u.ac.jp/pdf/info/basedata/basedata/2017-2018/2-1.pdf</p>
-------	---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	3人	—					3人
文学部	—	45人	5人	2人	0人	0人	52人
法学部	—	17人	6人	1人	0人	0人	24人
経済学部	—	21人	5人	0人	0人	0人	26人
経営学部	—	22人	1人	1人	0人	0人	24人
マネジメント創造学部	—	8人	10人	7人	0人	0人	25人
フロンティアサイエンス学部	—	9人	4人	1人	0人	0人	14人
理工学部	—	26人	8人	0人	2人	0人	36人
知能情報学部	—	11人	8人	0人	0人	0人	19人
教養部	—	18人	12人	9人	0人	0人	39人
大学院	—	11人	2人	0人	0人	0人	13人
設置研究所	—	1人	1人	2人	1人	0人	5人
その他	—	1人	0人	2人	0人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		616人				616人	
各教員の有する学位及び業績（教員データベースURL等）		ホームページで公表している。 http://researchers.adm.konan-u.ac.jp/					
c. FD（ファカルティ・デベロップメント）の状況（任意記載事項）							
甲南大学FD委員会と学部・センターのFD委員会が連携、FD活動の推進を図っている。							
＜主な取組＞							
① 授業改善アンケート 毎年前期・後期に実施している。アンケート集計結果は授業担当者にフィードバックされ、各授業科目における授業改善に活用している。また、アンケート集計結果を公開することにより、学生の履修計画の一助としている。							
② 外研修の案内および参加報告 教育力向上のために教員に学外研修・セミナーの案内を発信し、参加を促進している。参加による成果はFDに関する媒体に記載するなどして共有を図っている。							
③ 講演会およびワークショップの開催 学外研修・セミナーに参加した教員による講演会・ワークショップを開催し、学内外に広くアクティブ・ラーニングの推進等を図っている。							
④ シラバスチェックの実施 各学部・センターの教員2名以上で、年度末にシラバスチェックを2回実施し、シラバスの質を担保している。							
⑤ 授業参観の推進 本学の公開授業を参観することにより、自己の授業に長所を取り入れ、授業の改善を図っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	405	428	106%	1615	1838	114%	20	8
理工学部	155	154	99%	620	675	109%		
経済学部	345	373	108%	1385	1607	116%		
法学部	345	362	105%	1385	1632	118%		
経営学部	345	373	108%	1380	1624	118%		
知能情報学部	120	124	103%	480	535	111%		
マネジメント創造学部	180	184	102%	720	790	110%		
フロンティアサイエンス学部	45	39	87%	170	172	101%		
合計	1940	2037	105%	7755	8873	114%	20	8
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文	450人 (100%)	12人 (2.6%)	404人 (90.0%)	34人 (7.6%)
理工	173人 (100%)	43人 (24.9%)	115人 (66.5%)	15人 (8.7%)
経済	364人 (100%)	3人 (0.8%)	344人 (94.5%)	17人 (4.7%)
法	364人 (100%)	1人 (0.3%)	334人 (91.8%)	29人 (8.0%)
経営	419人 (100%)	2人 (0.5%)	395人 (94.3%)	22人 (5.3%)
知能情報	126人 (100%)	14人 (11.1%)	104人 (82.5%)	8人 (6.3%)
マネジメント 創造	184人 (100%)	1人 (0.5%)	170人 (92.4%)	13人 (7.1%)
フロンティア サイエンス	27人 (100%)	14人 (51.9%)	13人 (48.1%)	0人 (%)
合計	2107人 (100%)	90人 (4.3%)	1879人 (98.6%)	138人 (6.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 甲南大学大学院、神戸大学大学院、大阪大学大学院 みなと銀行、兵庫信用金庫、兵庫県警察本部、兵庫県教育委員会				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	464 人 (100.0%)	410 人 (88.4%)	29 人 (6.3%)	23 人 (5.0%)	2 人 (0.4%)
理工学部	201 人 (100.0%)	155 人 (77.1%)	28 人 (13.9%)	18 人 (9.0%)	0 人 (0.0%)
経済学部	383 人 (100.0%)	329 人 (85.9%)	32 人 (8.4%)	16 人 (4.2%)	6 人 (1.6%)
法学部	396 人 (100.0%)	329 人 (83.1%)	38 人 (9.6%)	25 人 (6.3%)	4 人 (1.0%)
経営学部	424 人 (100.0%)	393 人 (92.7%)	19 人 (4.5%)	9 人 (2.1%)	3 人 (0.7%)
知能情報学部	136 人 (100.0%)	115 人 (84.6%)	16 人 (11.8%)	5 人 (3.7%)	0 人 (0.0%)
マネジメント創 造学部	192 人 (100.0%)	167 人 (87.0%)	18 人 (9.4%)	5 人 (2.6%)	2 人 (1.0%)
フロンティアサ イエンス学部	38 人 (100.0%)	26 人 (68.4%)	6 人 (15.8%)	6 人 (15.8%)	0 人 (0.0%)
合計	2,234 人 (100.0%)	1,924 人 (86.1%)	187 人 (8.4%)	107 人 (4.8%)	17 人 (0.8%)
(備考) 除籍者は「中途退学者」に含む。また、「その他」は、卒業延期者数。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 開講されているすべての授業科目について、授業内容、到達目標、授業方法、準備学習、必要となる知識、成績評価の方法（基準）、授業構成、教科書・参考書等をシラバスで公表している。また、実務経験のある教員等による授業科目については、「授業構成」欄に＜実践＞と記載している。

(次項に続く)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>授業科目の成績評価の客観的な指標として、Grade Point (GP) を定め、各評価の修得単位数に GP の値を乗じた値の合計値を、総履修登録単位数で除した数値を Grade Point Average (GPA) として設定している。学生は GPA を学修簿 (成績表) において確認することができ、入学年度、学部・学科における GPA の分布を継続的に把握している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	日本語日文学科	130 単位	有	48 単位
	英語英米文学科	130 単位	有	48 単位
	社会学科	130 単位	有	48 単位
	人間科学科	130 単位	有	48 単位
	歴史文化学科	130 単位	有	48 単位
理工学部	物理学科	128 単位	有	49 単位
	生物学科	128 単位	有	49 単位
	機能分子化学科	128 単位	有	49 単位
経済学部	経済学科	128 単位	有	48 単位
法学部	法学科	126 単位	有	48 単位
経営学部	経営学科	130 単位	有	44 単位
知能情報学部	知能情報学科	128 単位	有	49 単位
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	124 単位	有	40 単位
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	128 単位	有	45 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学修簿 (成績表) により学生に公表している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：学修ポートフォリオによる学修度を公表している。		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表している。 https://www.konan-u.ac.jp/gakuen/basedata/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

単位：円

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	日本語日本文学科	1年次 746,000 2～4年次 826,000	300,000	1年次 180,000	施設設備費
	英語英米文学科			2～4年次 195,000	
	社会学科			1年次 190,000	
	歴史文化学科			2～4年次 195,000	
	人間科学科				施設充実費 研究資料費 (1年次のみ)
理工学部	物理学科	1年次 1,077,000	300,000	1年次 207,000	施設設備費 設備充実費
	生物学科	2～4年次 1,157,000		2～4年次 272,000	
	機能分子化学科				
経済学部		1年次 746,000	300,000	1年次 180,000	施設設備費
法学部		2～4年次 826,000		2～4年次 195,000	
経営学部					
知能情報学部		1年次 1,077,000 2～4年次 1,157,000	300,000	1年次 207,000 2～4年次 272,000	施設設備費 設備充実費
マネジメント創造学部	マネジメント コース	1年次 501,000 2～4年次 801,000	300,000	1～4年次 412,000	施設設備費 教育充実費
	特別留学コース	1年次 501,000 2～4年次 801,000	300,000	1年次 841,000 2～4年次 649,000	
フロンティアサイエンス 学部		1年次 812,000 2～4年次 1,112,000	300,000	1～4年次 634,000	施設設備費 設備充実費 教育充実費
<p>上記の他、実験科目または実習科目の履修者には、履修科目ごとの実験費・実習費を徴収している。</p> <p>マネジメント創造学部特別留学コースの学費は、留学先の授業料を含む。また、留学費用が別途必要である。</p> <p>マネジメント創造学部では、学費以外に講義実習経費を徴収している。</p>					

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学の「学生生活支援方針」および「障がい学生支援方針」に基づき、指導主任教員や各部局（教務部・学生部・キャリアセンター・学生相談室・YOUステーション等）が、学生の相談内容に応じて連携し、修学支援を行なっている。障がい等のある学生に対しては、学生生活支援委員会の下で関係部局が連携して、個別対応を基本として修学支援を行なっている。経済的支援として、学費延納制度、奨学金制度や特待生制度等を整備している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 国家資格「キャリアコンサルタント」有資格者を複数配置し、随時キャリアに関する個別相談ができる体制を整備。模擬面接や履歴書・エントリーシートの添削といった個別の支援だけでなく、就職活動を支援する各種ガイダンス、講座、イベントを実施。学部の授業に出向いてのキャリアガイダンスの実施、キャリアに関する授業を教員と共同で運営。企業との協定型インターンシップを推進し、事前研修・事後研修と合わせて学生に参加させることで、学生の就業観を培う取り組みを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室にカウンセラーおよび精神科医を置き、個別相談、心理的成長のための様々な教育的プログラムの提供等を実施し、必要に応じて関係部局と連携して支援を行なっている。医務室では、学校医の指導に基づき、定期健康診断や健康相談日等を実施し、健康管理面でのサポートを行なっている。又、メンタルケアが必要な学生については、学生相談室と連携して支援を行なっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：甲南学園事業報告書（冊子配布・HP）にて公表している。 http://www.konan-u.ac.jp/gakuen/basedata/jigyuu.html
